

令和6年度 学校評価に関わるアンケート集計結果

令和6年 2月21日
宮城県中新田高等学校

1 アンケート調査期日と回収率

対象者	回収率	実施日
生徒	95.7% (222/232人中)	12月6日(金)～12月20日(金) Web回答により実施
保護者	77.6% (180/232人中)	
教職員	100% (34/34人中)	

2. 調査内容

下記(1)～(14)の項目について「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階で回答していただいた。

- (1) 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている (スクールポリシー)
- (2) 学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている (学習指導)
- (3) 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている (生徒指導)
- (4) 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている (進路指導)
- (5) 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている (教育相談)
- (6) 部活動は活発に行われている (部活動)
- (7) 生徒会活動は活発に行われている (生徒会活動)
- (8) 有意義な学校行事がある (学校行事)
- (9) 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる (特色ある学校づくり)
- (10) 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている (防災教育)
- (11) 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている (開かれた学校づくり)
- (12) 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている (施設設備)
- (13) 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる (いじめ対応)
- (14) 学校生活は充実している (総合満足度)

3 集計結果一覧 (数字は肯定的評価の値 単位 %)

※「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の回答を合計し、肯定的評価としています。

	項 目	生徒		保護者		教職員	
		R6	R5	R6	R5	R6	R5
1	スクールポリシー	95.5%	85.2%	96.0%	74.7%	97.1%	90.9%
2	学習指導	90.1%	82.0%	90.0%	70.5%	94.1%	84.9%
3	生徒指導	95.0%	91.2%	88.8%	76.9%	79.4%	81.8%
4	進路指導	94.1%	88.4%	89.3%	72.6%	88.2%	93.9%
5	教育相談	94.1%	90.3%	85.0%	56.8%	91.2%	97.0%
6	部活動	88.7%	87.0%	80.2%	77.4%	61.8%	78.8%
7	生徒会活動	92.8%	85.7%	87.7%	67.4%	85.3%	84.9%
8	学校行事	91.4%	87.5%	95.5%	84.7%	91.2%	90.9%
9	特色ある学校づくり	93.7%	86.6%	91.1%	76.3%	94.1%	93.9%
10	防災教育	96.4%	92.6%	81.5%	77.9%	97.1%	100.0%
11	開かれた学校づくり	95.9%	92.1%	95.5%	92.6%	97.1%	100.0%
12	施設整備	86.0%	74.1%	82.7%	62.1%	85.3%	78.8%
13	いじめ対応	89.6%	81.0%	70.2%	48.4%	94.1%	97.0%
14	総合満足度	89.2%	84.7%	89.0%	84.2%	91.2%	90.9%
	平均	92.3%	86.3%	87.3%	73.0%	89.1%	90.3%

4 結果分析

○今年度の学校評価に関するアンケートは、宮城県教育委員会から指定されている評価項目(14項目)についてのみ実施した。(R5年度は、自校独自質問項目を含め22項目で調査)

○R5年度は、「当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」という4つの選択肢に、「わからない」を加えた5件法で調査した。今年度は、「わからない」を除き、県統一の4件法で調査した。

○今年度の「保護者」「生徒」の回答全体が肯定的評価に寄っている。「わからない」という選択肢がなくなったが、好意的な考えを持ってくださり、肯定的な回答が増えたのではないかと考えられる。

○本校が取り組んでいる教育活動、特に「地域に貢献できる人材づくり」をつなげるような「地域創造学」等の取組が、生徒・保護者・教職員に広く浸透してきている。

○生徒・保護者ともに「学校行事」「生徒会活動」については、肯定的な見方をしている。もっと改善の余地はあるだろうが、現状の生徒会活動、文化祭や体育祭等の学校行事への満足度は高いものと考えられる。

○「中高だより」の発行回数は減っているが、学校ウェブページに加えFacebook、Instagram、公式Lineの3つのSNSでの情報発信に努めている。また、保護者・生徒への連絡アプリ「eメッセージ」を活用した情報発信も行っている。「開かれた学校づくり」について、生徒・保護者ともに肯定的な見方をしている。

▲「いじめ対応」については、定期的な「生活アンケート」の実施、クラス担任を中心とした生徒への声かけ、スクールカウンセラーの活用等、様々な教育相談体制を整えているが、学校の取組が生徒・保護者に十分に伝わっていないため、生徒・保護者の肯定的な割合が、教職員の肯定的割合よりも低いのではないかと考えられる。

▲「いじめ対応」《保護者48.4%(R5)が70.2%(R6)》、「教育相談」《保護者56.8%(R5)が85.0%(R6)》と急激に上昇している。いじめ対応・教育相談体制などの学校の取組が、保護者に十分に伝わっていない状況でありながら、「学校評価アンケート」に回答いただいていたことが考えられる。本校の学校教育活動について、もっと保護者へ伝え、理解していただく必要性を強く感じる。

▲「部活動」については、令和5年度から「任意加入制度」「部の精選(廃部規定)」などを議論している。部活動自体の取組から、生徒・保護者は肯定的な見方をしている割合が高い。一方、教職員は「部活動が活発に活動している」と肯定的な見方をする割合は、下がってきている。

<自由記述より>

○有意義な高校生活を送ることができている

○親切な対応をして頂き、大変感謝している

○中新田高校でたくさんの事を学ぶことができ良かった

○地域との関わり、地域貢献、様々な活動が充実している

○先生方も一生懸命で、大変有り難い

▲生徒が相談しやすい環境にしてほしい

▲アンケート内容に答えるのが難しいものがあった

▲三者面談以外で保護者と先生方との対話がなかった

▲何かしら先生から注意を受けてばかりいて高校生活は楽しくないと言っていた

▲送迎で使用する駐車場に街灯が少なく、防犯面が心配

今回寄せられましたご意見を踏まえ、今後とも本校の教育活動の改善に努めてまいります。